

経営評価シート

1. 団体の基本情報							
団体名	福岡県道路公社			設立年月日	昭和49年12月2日		
所在地	福岡市博多区吉塚本町13番50号 福岡県吉塚合同庁舎4階						
出資総額	22,865,000千円		主な出資者	出資額	出資割合		
県出資額	15,475,250千円		福岡市	7,389,750千円	32.3%		
県出資割合	67.7%			千円	%		
				千円	%		
設立目的等	福岡県の区域及びその周辺の地域において、その通行又は利用について料金を徴収することができる道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を統括的かつ効率的に行うこと等により、この地域の地方的な幹線道路の整備を促進して、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。						
主要事業の内容							
事業名	事業内容						
維持管理業務	福岡前原道路(L=14.2km)の運営管理 ※ 料金徴収期間満了に伴い、天神中央公園駐車場は平成28年4月3日に福岡市に、冷水道路(L=5.9km)は平成28年5月15日に福岡県にそれぞれ移管した。						
事業実績に関する情報	単位	H29	H30	R1	R2	R3	備考
冷水道路1日当たり交通量	台	-	-	-	-	-	H28年5月県に移管
福岡前原道路1日当たり交通量	台	24,117	24,761	24,795	21,161	23,105	前原料金所
//	台	34,395	35,010	35,393	31,096	34,284	福岡西料金所
天神中央公園駐車場1日当たり利用台数	台	-	-	-	-	-	H28年4月福岡市に移管
2. 団体の組織・人員情報							
代表者名	理事長 村田 泰英			区分	県OB		常勤
常勤役員名	-			区分	-		
		H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
常勤役員数(※)		1名	1名	1名	1名	1名	1名
職員数	常勤(正規)	9名	9名	9名	8名	8名	8名
	うち プロパー	-	-	-	-	-	-
	嘱託(常勤・非常勤)等・臨時	6名	6名	5名	5名	5名	5名
	合計	15名	15名	14名	13名	13名	13名
増減の主な理由							
<p>○平成29年度： 管理施設の減に伴う組織見直しによる減(常勤役員を非常勤役員へ)</p> <p>○平成30年度： 増減なし</p> <p>○平成31年度： 経費節減のため、再雇用職員退職後、補充なし(平成31年度は、H31.4.23から常勤(正規)職員数は8名で合計13名。)</p> <p>○令和2年度： 増減なし</p> <p>○令和3年度： 増減なし</p> <p>○令和4年度： 増減なし</p>							
3. 県関与の状況							
人的支援 (常勤役員再掲)(※)		H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1
県派遣		8名	8名	8名	7名	7名	7名
県OB		2名	2名	2名	2名	2名	2名
財政支出		H29	H30	R1	R2	R3	備考
出資金		-	-	-	-	-	
貸付金		-	-	-	-	-	
補助・負担金		1,219千円	1,252千円	1,097千円	1,122千円	1,132千円	
委託料		-	-	-	-	-	
4-①. 中期経営計画における改善に向けた取り組みの方向性(H29～R3)							
「安全・安心・快適な道路の提供」、「利用者の満足度向上」、「健全な公社経営」を基本方針とした、より健全で親しまれる道路の運営を目指す。							

※役員改選を理由とする年度当初の一時的な減は、反映していない。

4-②. 中期経営目標における改善目標の達成状況

改善目標の区分(視点)	目標達成に向けた具体的な取組、戦略等	指標	単 位	上段:計画 下段:実績						自己評価	改善目標区分の達成に向けた2021年度(R3)の取組状況		
				2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)				
事業活動・住民サービス (計画性 公益性 等)	① 福岡前原道路の利用促進に努め、業務収益の確保を図る。	福岡前原道路の1日当たりの平均交通量	台/日		60,419					69,297	B	福岡前原道路の利用促進を図るため、道路マップを道の駅や観光地のホテル、観光協会等に配置。利用者サービスの向上を図るため、引き続き料金収受員の接遇研修等を実施した。 円滑な料金所運営を図るため、新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図った。	
				56,466	58,512	59,771	60,188	52,257	57,389				
		福岡前原道路の業務収益(年間収入)	千円/年		3,700,501					4,244,218			
				3,456,058	3,590,782	3,673,756	3,755,644	3,282,460	3,592,491				
財務会計 (経済性 効率性 等)	① 借入金の調達に際し、効率的な資金調達に努め、将来の金利負担を軽減する。	資金調達方法	-		競争入札による調達金利低減					競争入札による調達金利低減	A	県内、県外を含め8行の金融機関から借入利率の見積を徴することにより競争性を高め、低利率で資金を調達した。	
				競争入札による調達金利低減	競争入札による調達金利低減	競争入札による調達金利低減	競争入札による調達金利低減	競争入札による調達金利低減	競争入札による調達金利低減				
		長期借入金残高(福岡前原道路)	百万円		20,681					13,089	B	新型コロナウイルス感染症影響前と比べ料金収入は減少したが、経費の節減等に努め、着実に長期借入金の償還を行い、残高減に努めた。	
				21,612	20,031	18,544	16,472	14,845	13,249				
		② 定期的な維持管理業務(除草、路面清掃等)を引き続き効率的に実施する。	経常的維持管理業務費	百万円		28				28	C	走行上の安全を確保し、良好な道路環境を維持管理するため、必要な除草等を実施した。	
					29	24	26	37	29	38			
		③ 財務諸表	自己資本比率	%		31.8					31.8	A	計画通り資産の増となる施策は実施していない。
					31.6	31.5	31.3	31.4	31.5	31.5			
			人件費率	%		3.0					2.7	B	令和元年度に人員1名減を実施し、その体制を継続しているが、料金収入が新型コロナウイルス感染症の影響により減少したため、目標を達成できなかった。
						2.8	3.2	3.1	2.7	3.1	2.8		
		県財政支出額	千円		1,000					833	C	県財政支出額は、地方公務員等共済組合法に基づく負担金である。共済負担率増等により目標を達成できなかった。なお、人員削減は令和元年度までに完了している。	
				162,141	1,219	1,252	1,097	1,122	1,132				
		県債務保証額	百万円		20,681					13,089	B	新型コロナウイルス感染症影響前と比べ料金収入は減少したが、経費の節減等に努め、着実に長期借入金の償還を行い、残高減に努めた。	
				21,612	20,031	18,544	16,472	14,845	13,249				
内部管理 (健全性 等)	① 労働契約法の改正に伴う無期労働契約の導入に際して、関係規程等の整備を遺漏なく進める。	労働契約法の改正に伴う規程等の整備	-		検討					実施	A	労働契約法改正による有期労働契約に係る無期転換ルールの施行に伴い、令和元年度以降当公社職員についても適用されることから、平成29年度に嘱託職員の任用期間、昇給基準等勤務労働条件について規定を見直した。	
					-	実施	実施	実施	実施	実施			
	② 嘱託職員が職務遂行を通じて発揮した能力や挙げた業績を的確に把握した上で、職員の士気の高揚と能力の開発を図る。	人事評価制度の導入	-		検討					実施	A	嘱託職員に対する人事評価は、令和2年度に人事評価制度のマニュアルを作成、対象職員に対し説明会を行い、令和3年度から本格的に実施している。	
				-	検討	検討	検討	実施	実施				
	③ 適正な職員数の配置を行い、人件費の縮減に努める。	職員数	人		15					13	A	人員削減は平成31年度までに完了している。	
				15	15	15	14(13)	13	13				

達成状況(まとめ)

○福岡前原道路の交通量は着実に伸びていたが、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。このため、交通量、料金収入、長期借入金残高、人件費率、県債務保証額については、目標を達成できなかった。
 ○福岡前原道路の一部区間は供用からおよそ30年が経過し、道路施設の老朽化が進んでいる状況であり、道路利用者の安全な通行を確保するためには維持管理費用の増加はやむを得ないものであった。
 ○不測の状況が続いているなか、インフラ長寿命化計画及び個別施設計画に基づく老朽化対策や人件費の縮減など経費節減に努めることにより、長期借入金を着実に償還し、残高を確実に減らしている。

- ※自己評価分類:
- A 達成されている。概ね達成されている。
 - B 新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかった。
 - C 目標が達成できなかった。(Bを除く)

5. 経営状況(道路公社)							
項目	単位	H29	H30	R1	R2	R3	
【貸借対照表】							
資産合計	千円	72,525,249	72,947,319	72,920,559	72,537,617	72,682,956	
うち金銭債権	千円	249,203	316,287	279,227	310,068	272,939	
うち棚卸資産(販売用不動産含む)	千円	494	319	346	187	317	
負債合計	千円	49,660,249	50,082,319	50,055,559	49,672,617	49,817,956	
うち借入金額	千円	20,030,836	18,544,641	16,472,187	14,844,922	13,249,395	
うち県からの借入金額	千円	-	-	-	-	-	
資本の部合計	千円	22,865,000	22,865,000	22,865,000	22,865,000	22,865,000	
県債務保証額又は損失補償額	千円	20,030,836	18,544,641	16,472,187	14,844,922	13,249,395	
団体債務保証額	千円	-	-	-	-	-	
【損益計算書】							
業務収入①	千円	3,626,933	3,735,106	3,787,712	3,310,816	3,616,630	
業務損益②	千円	1,872,739	1,907,455	2,006,879	1,231,179	1,747,991	
償還準備金及び道路(駐車場)事業 損失補てん引当金繰入前損益③	千円	1,806,334	1,907,942	1,976,956	1,247,142	1,737,984	
当期損益	千円	-	-	-	-	-	
【収支計算書】							
総収入 A	千円	9,235,156	9,450,204	8,597,555	8,061,780	7,728,999	
うち県財政支出額	千円	1,219	1,252	1,097	1,122	1,132	
内訳: 出資金	千円	-	-	-	-	-	
内訳: 補助金・負担金	千円	1,219	1,252	1,097	1,122	1,132	
内訳: 委託料	千円	-	-	-	-	-	
内訳: 貸付金	千円	-	-	-	-	-	
総支出 B	千円	9,318,536	9,336,262	8,505,719	8,245,983	7,380,158	
うち人件費総額	千円	114,525	115,325	101,657	101,709	100,520	
当期収支 A-B	千円	△ 83,380	113,942	91,836	△ 184,203	348,841	
【財務指標】							
自己資本比率	%	31.5	31.3	31.4	31.5	31.5	
県財政支出率	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
人件費率	%	3.2	3.1	2.7	3.1	2.8	
繰入前損益率	%	49.8	51.1	52.2	37.7	48.1	
【団体毎の経営評価指標】							
料金収入実績							
冷水道路	千円	-	-	-	-	-	
福岡前原道路	千円	3,590,782	3,673,756	3,755,644	3,282,460	3,592,491	
天神中央公園駐車場	千円	-	-	-	-	-	
収支率(費用/収入)							
冷水道路	%	-	-	-	-	-	
福岡前原道路	%	61.2	60.8	58.7	73.4	62.8	
天神中央公園駐車場	%	-	-	-	-	-	
【常勤役職員の報酬・給与に関する状況(R3年度)】							
常勤役員平均年齢	60.0歳	常勤役員平均年収	7,257千円	常勤職員平均年齢	50.6歳	常勤職員平均年収	7,245千円
【経営状況に関する各数値、指標の増減理由】							
<p>令和3年度の交通量及び料金収入は、令和2年度と比較して約10%増加しているものの、新型コロナウイルスの影響を受ける前の令和元年度水準まで回復していない状態である。</p> <p>業務損益についても、新型コロナウイルスの影響前よりも減少しているが、10億円を超える一定の収益を確保している。このため、借入金額(負債)は着実に減少している。</p>							
6. 団体(経営責任者)の自己点検評価							
<p>令和3年度の交通量及び料金収入は、令和2年度と比較して約10%増加しているものの、依然として新型コロナウイルスの影響を受けている。このため効果的な事業実施や人件費の縮減など経費節減に努めることにより、長期借入金を償還し、残高を確実に減らしている。健全な経営を継続できていると考える。</p> <p>しかしながら、福岡前原道路の一部区間は供用からおよそ30年が経過し、道路施設の老朽化が進んでいる。道路の安全な通行を確保するため、長寿命化計画に基づく老朽化対策を確実に推進しなければならない。</p> <p>今後も厳しい経営環境が続くが、老朽化対策の推進や経費節減に努めることにより、安全・安心・快適な道路の提供と健全な公社経営を実現する。</p>							
7. 外部専門家の意見							
<p>現在運営管理している福岡前原道路の交通量及び料金収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年度からは回復しているものの、中期経営計画における改善目標を下回っている。</p> <p>引き続き、状況を見極めながら適時対応することが求められるとともに、利用促進や経費の節減等に努め、経営の安定化に取り組むことが求められる。</p>							
8. 経営評価委員会による経営評価結果							
<p>福岡前原道路の交通量及び料金収入は、新型コロナウイルスの影響前と比べると下回っているが、経費の削減等に努め、着実に長期借入金の償還を行っている。</p> <p>今後も、利便性の向上に努めることで利用促進を図り、料金収入を確保すると共に更なる経費削減に取り組み、利用者の安全・安心の確保と健全な公社経営を図る必要がある。</p>							